

## 四天王寺和らぎ苑

宣言の具体的実践のために、障がいを持つご利用者が安心して暮らせる和らぎ苑をご家族とともにつくることを目指して「和らぎ苑の誓い～和らぎ苑は一つの家族～」を平成29年度の事業計画に示した。以降、これを実現するために、当該年度も以下の7つの観点から、事業計画を策定し、障がいを持つ方とご家族の笑顔のために改善活動に取り組んだ。

### ～事業活動報告～

#### (1) 理念の伝承

各部署単位での朝礼のみならず、全体朝礼を定期開催し、宣言の浸透を図った。

宣言の具現化の成果として、昨年度に引続き実践報告会を企画開催した。

#### (2) チームで支える、利用者さん中心の施設

多職種からなる利用者個々の事例検討会を合同カンファレンスとして実施し定着させた。

人工呼吸器等医療ニーズに対応するべく、人員体制並びに設備等の環境整備に取り組んだ。

#### (3) 地域のための施設

地域の民生委員、自治会、CSW等と共同し、地域貢献活動として、地域イベントに協力し、地域の児童200名を昨年度に引続き施設へ招待することができ、入所ご利用者との交流機会を持った。このことは、従来事業だけでない地域とのつながりを生み出すことができた。

#### (4) 安全で安心な施設

医療安全、感染症対策等、年間500件を超えるインシデントアクシデントレポートをもとに原因分析から再発防止策を多職種からなるカンファレンスで立案し、実践を行った。また、レポート形式を紙媒体から記録ソフトへシステム移行することで細部の統計分析が可能となり、事故再発防止策の有効なデータとなった。

#### (5) 知識技術の向上、学術集会等への参画

各専門領域毎、あるいは全職員共通の技術習得の為内外研修計画を立案し参加した。

次世代の組織マネジメントリーダー候補者を指名し、養成を図った。

法人実践報告会、日本重症心身障害福祉施設協議会学術発表会他に参画し、評価を得た。

#### (6) 教育システムの確立

組織として、専門職としての知識、技能、態度・情意を育成してゆく為、職種別、階層別の研修計画を立案し取り組んだ。また、人材不足により業務調整が難しい中で顕在化した低くなってしまっている研修受講率に対する手立てとして、WEB研修について導入し、その受講の容易さから研修受講率を高める効果を得た。

#### (7) 経済的安定

収入は前年度増としたが、次年度準備の為もあり人件費が計画を上回った。引続き経費削減を、今後の重点課題と捉え、基幹設備更新等、将来資金の確保を計画的に行いたい。

### ～改善活動～

(1) 発達外来及びリハ・歯科等、増収となった。

(2) 療育環境の改善の為、専門委員会を立上げ、中長期の計画を検討した。

(3) 各関係機関との連携により府外広域でお困りな緊急短期入所利用者の受入れを行った。

(4) 富田林苑と連携し、次年度より始動させる将来計画立案の為の分科会を立上げた。

(5) 防災、災害に向けて、計画とおりに実践訓練を実施した。